

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年10月4日)

- 1 田村虎蔵生誕140周年顕彰事業の実施について
【文化政策課】・・・1ページ
- 2 前田昭博氏の国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）
認定について
【文化政策課】・・・2ページ
- 3 関西広域連合文化振興指針の策定について
【文化政策課】・・・6ページ
- 4 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について
【文化政策課】・・・7ページ
- 5 第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット
参加について
【交流推進課】・・・8ページ
- 6 県立智頭農林高等学校「第5回観光甲子園」グランプリ受賞
記念モニターツアーの実施について
【観光政策課】・・・9ページ
- 7 香港へのトッププロモーションについて
【国際観光推進課】・・・10ページ

文化観光局

田村虎蔵生誕140周年顕彰事業の実施について

平成25年10月4日
文化政策課

鳥取県岩美町出身の音楽家 田村虎蔵氏が生誕140周年を迎える今年、同氏が作曲した名曲を再認識いただくとともに、次世代への継承を図ることを目的として、以下顕彰事業を行います。

1 メインコンサート

- (1) 日時 平成25年10月19日(土) 午後4時から午後5時30分まで
(2) 場所 とりぎん文化会館 梨花ホール
(3) 内容

- ①テーマ 田村虎蔵の世界 ～世代をこえて うたいつなく～
②対象 3世代(おじいちゃん・おばあちゃん～おとうさん・おかあさん～子ども達)
③構成 以下による三部構成

構成	テーマ	内容	出演者
第一部 (25分)	田村虎蔵氏の音楽へのいざない	田村虎蔵氏の代表的な作品の合唱(きんたろう、一寸法師、はなさかじじい、大黒様)	・岩美町の小学生(1年生～3年生) ・マリンバ奏者 門脇志保
第二部 (20分)	田村虎蔵氏の生涯	田村虎蔵氏の生い立ち及び生涯を通じた功績の紹介	鳥取県住みます芸人「ほのまる」
第三部 (45分)	音楽教育者・田村虎蔵氏の業績	・田村虎蔵氏の研究者によるその功績の紹介 ・田村虎蔵氏の作品を今回のコンサート用にアレンジした楽曲を用いたコンサート(青葉の笛、山陰鉄道唱歌、虫の楽隊)	・武蔵野音楽大学 丸山忠璋教授 ・わらべ館 平緒佐和専門員 ・県内合唱団 (鳥取市少年少女合唱団、いわみコーラス、中部少年少女合唱団MI RAI) ・オーケストラ(倉吉室内合奏団及び県内出身音楽家)

- (4) 主催 「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会
(5) 共催 鳥取県、岩美町、わらべ館
(6) 演出 特定非営利活動法人 鳥の劇場(代表理事 中島 諒人)

2 その他関連事業(実施済みのものを含む)

名称	期日	場所	主催
特別展「田村虎蔵の足跡と今」	5月16日(木)～6月18日(火)	わらべ館エントランスホール	「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会
わらべ館スタッフによるミニコンサート	5月24日(金)	わらべ館いべんとほーる	わらべ館
生誕地コンサート	6月9日(日)	一寸法師の館(岩美町)	岩美町教育委員会
企画展「田村虎蔵が残したもの」	6月20日(木)～11月19日(火)	わらべ館うたの広場	わらべ館
中部地区パネル展	6月30日(日)	倉吉未来中心大ホールホワイエ	「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会
鳥取えきなかコンサートへの参加	9月21日(土)	鳥取駅コンコース	「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会
わらべ館スタッフによるミニコンサート	9月29日(日)	わらべ館いべんとほーる	わらべ館
ミニコンサート&紙芝居ステージ	10月5日(土)	とりぎん文化会館フリースペース	「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会

前田昭博氏の国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定について

平成25年10月4日
文化財課
文化政策課
企画課

平成25年7月19日、国の文化審議会（会長 宮田亮平）から文部科学大臣に、国重要無形文化財「白磁」の保持者（人間国宝）として鳥取県指定無形文化財「陶芸」保持者の前田昭博氏を追加認定するよう答申されたところですが、下記のとおり正式認定されました。

また、人間国宝認定にかかる知事報告会を併せて開催しました。

1. 国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定

(1) 認定内容

- ①名 称 白磁（はくじ）
- ②保持者 前田 昭博（まえた あきひろ）（※認定概要、略歴は別添資料1参照）
- ③生年月日 昭和29年5月1日（満59歳）
- ④住 所 鳥取県鳥取市（※鳥取県内在住者では初認定）
- ⑤認 定 日 平成25年9月26日

(2) 認定書交付式

- ①日 時 平成25年9月27日（金） 12:15～12:45
- ②場 所 如水会館（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

2. 人間国宝認定にかかる知事報告会

- (1) 日 時 平成25年9月30日（月） 10:00～10:30
- (2) 場 所 知事公邸 第二応接
- (3) 出席者 前田昭博氏、平井知事、林副知事 ほか
- (4) 概 要
 - ①人間国宝の認定報告
[前田氏の主な発言]
 - ・人間国宝認定を励みとして、今後とも創作活動に精進したい。
 - ・ものづくりを通じた人づくりなど、社会的にも貢献をしていきたい。
 - ②県政顧問の委嘱（県政顧問名簿は別添資料2参照）
 - ・前田氏を県政顧問に委嘱するとともに、工芸を通じた次世代人材育成などの分野で氏の協力をいただくこととした。



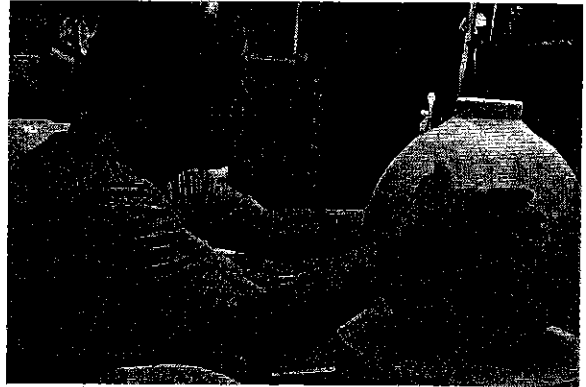
認定書交付式



報告会

国指定重要無形文化財の保持者認定（前田昭博氏）について

名 称 白磁（はくじ）
 保持者 前田 昭博（まえた あきひろ）
 生年月日 昭和29年5月1日（満59歳）
 住 所 鳥取県鳥取市



制作風景（面取）

概 要

（1）重要無形文化財「白磁」について

「白磁」（平成7年5月31日指定）は、陶石や磁土を主原料として成形し、その上に長石・石灰等を調合した釉薬をかけて焼成する陶芸技法で、我が国では17世紀初頭に有田で磁器の焼成が始まって以来、格調の高い白磁が各地で焼成され、その伝統技法が現代に伝えられている。

*なお、現在保持者として井上萬二氏が認定されており、前田氏で2人目となる。

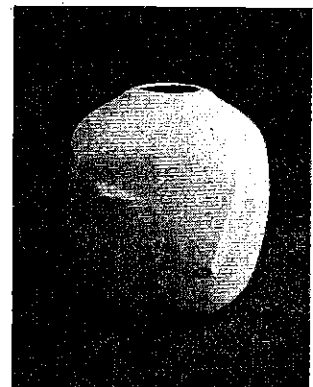
（2）前田昭博氏について

前田氏は、鳥取県八頭郡河原町（現・鳥取市）に生まれ、大阪芸術大学工芸学科で陶芸を専攻し、卒業後郷里に築窯し、独立して作陶に専念した。以来、白磁の制作技法や表現について独自に研究を続け、活発な創作活動を展開しながら技を錬磨し、高度に体得して今日に至る。

同氏の制作技法は、天草産の陶石を原料とし、轆轤で造形した後、土が乾燥する前に器の表面から手指によって圧力を加え、面取りや捻れ状の動きのある凹凸を器面に施し、さらに光沢を抑えた半透明の釉薬を施して焼成し、白磁の白一色に深みのある陰翳を与えて完成させるものである。この作風は、伝統的な技法を踏まえつつ豊かな芸術性を備え、かつ現代感覚に溢れており、白磁の世界に新たな展開を示すものとして高い評価を受けている。

同氏は、平成12年の第47回日本伝統工芸展において朝日新聞社賞（優秀賞）を受賞、同15年の第50回同展において第50回展記念賞（優秀賞）を受賞した。同じく同15年に第20回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形展」田部美術館大賞を受賞し、同16年に日本陶磁協会賞、同17年に第60回新匠工芸会展新匠工芸会60回記念大賞を受賞するなど、多方面から高い評価を得ている。また、平成19年には紫綬褒章を受章した。このほか、海外にも積極的に作品を発表し、高く評価されている。

このほか、平成18年第53回日本伝統工芸展で鑑査委員（以後4回歴任）を務めるなど、後進の指導・育成にも尽力している。

白瓷面取壺 1991
鳥取県立博物館所蔵

（3）備考

今回の認定は、鳥取県初の国指定重要無形文化財保持者（通称人間国宝）認定となる。（但し、鳥取県出身者では大坂弘道氏が「木工芸」で認定を受けている）

なお、現在認定されている県指定無形文化財保持者については、重要無形文化財保持者認定日に、解除となる。

前田昭博氏の略歴

- 昭和29年 鳥取県八頭郡河原町（現鳥取市）に生まれる
- 同 52年 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業
- 同 54年 第5回日本陶芸展初入選
- 同 58年 第30回日本伝統工芸展初入選
- 平成 2年 社団法人日本工芸会（現 公益社団法人日本工芸会）正会員（現在に至る）
- 同 3年 第11回日本陶芸展「毎日新聞社賞」受賞
- 同 5年 第48回新匠工芸会展「富本賞」受賞
- 同 6年 第37回日本工芸会中国支部展「金重陶陽賞」受賞
- 同 9年 第10回MOA岡田茂吉賞展「優秀賞」受賞
- 同 12年 第47回日本伝統工芸展「朝日新聞社賞」受賞
- 同 15年 第20回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形展」大賞受賞
第2回京畿道世界陶磁ビエンナーレ銅賞受賞
第50回日本伝統工芸展「第50回展記念賞」受賞
- 同 16年 平成15年度日本陶磁協会賞受賞
- 同 17年 第60回記念新匠工芸展「60回記念大賞」受賞
- 同 18年 第53回日本伝統工芸展鑑査委員（以後4回歴任）
- 同 19年 「わざの美 伝統工芸の50年」展（英国・大英博物館ほか主催）招待出品
紫綬褒章受章
- 同 21年 鳥取県立博物館企画展「前田昭博 白瓷の造形」
- 同 22年 社団法人日本工芸会（現 公益社団法人日本工芸会）理事（同24年まで）
- 同 23年 鳥取県文化功労賞受賞
- 同 24年 鳥取県指定無形文化財「陶芸」保持者
公益社団法人日本工芸会常任理事（現在に至る）
- 同 25年 国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定

県政顧問名簿

平成25年10月4日時点

【地域別、五十音順】

番号	地域	氏名	職業等	備考
1	東京	かどわき たかし 門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科 教授	
2	東京	しもむら せつひろ 下村 節宏	三菱電機(株)取締役会長	
3	東京	たがわ ひろみ 田川 博己	(株)JTB代表取締役社長	
4	東京	はやしだ ひでき 林田 英樹	前 国立新美術館長 (初代、H18.7～H23.12)	
5	東京	ふくみや けんいち 福宮 賢一	明治大学学長	
6	東京	やまだ けんすけ 山田 憲典	(株)不二家 代表取締役会長 山崎製パン(株) 取締役副社長	
7	東京	よねはま かずひで 米濱 和英	(株)リンガーハット 代表取締役会長兼社長	
8	関西	いのうえ のりゆき 井上 礼之	ダイキン工業(株)会長兼CEO	
9	関西	うえだ りえこ 上田 理恵子	(株)マザーネット代表取締役社長	
10	関西	おくだ つとむ 奥田 務	J. フロントリテイリング(株) 取締役相談役	
11	関西	さわ しろう 澤 志郎	日本交通(株)取締役社長	
12	鳥取	まえた あきひろ 前田 昭博	国重要無形文化財「白磁」保持者 (人間国宝)	

関西広域連合文化振興指針の策定について

平成25年10月4日
文化政策課

文化振興の取組を強化し関西文化の魅力を内外に発信するため、9月21日開催の関西広域連合委員会において「関西広域連合文化振興指針」が策定されました。

1 指針策定の経過

- 現在、広域計画や関西観光・文化振興計画では、文化振興について十分な位置付けがなされておらず、広域連合規約においても、文化振興について取り組める事務の範囲が示されていない。
- 当該指針は、今後改正を行う規約及び広域計画の骨組みとなるよう、今後の文化振興の目標や方向性等、関西全体の文化振興を図るための包括的な指針として新たに策定された。

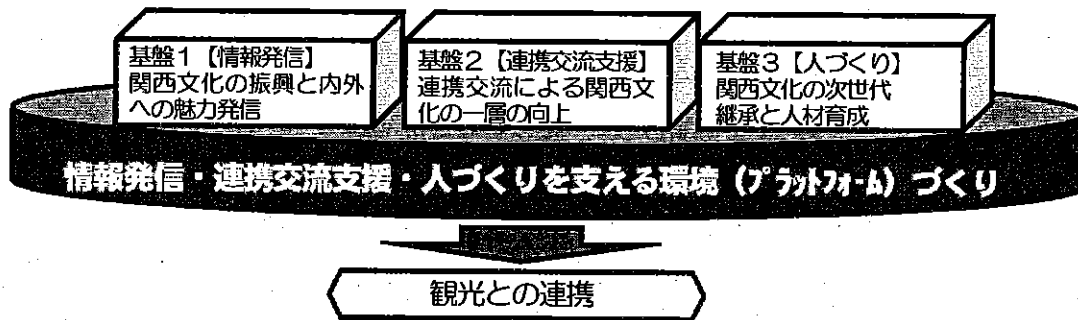
2 指針の概要

(1) 基本理念

「文化首都・関西」の実現を目指し、さらに世界を視野に「アジアの文化観光首都」としての発展を目指す。

(2) 施策の体系

観光分野との連携をもとに、持続可能で豊かな文化を醸成するための基盤づくりを進める。また、基盤を支える環境（プラットフォーム）づくりを通じて、関西全体の文化振興を図る。



<当面の施策方向>

- 基盤1「情報発信」～関西文化の振興と内外への魅力発信
 - (1) 「関西文化」の認知度とイメージの向上
 - (2) 豊富な文化資源のプロデュースによる効果的な魅力発信
- 基盤2「連携交流支援」～連携交流による関西文化の一層の向上
 - (1) 各府県市の文化施策の総合的な効果の誘引
 - (2) EUの先進例から学ぶ
 - (3) 観光・産業等他分野との連携
- 情報発信・連携交流支援・人づくりを支える環境（プラットフォーム）づくり

<中長期的な方向>

- 基盤3「人づくり」～関西文化の次世代継承と人材育成

(3) 施策の特徴

- これまで取り組んできた「情報発信」だけでなく、施策の方向性として「連携交流支援」と「人づくり」が追加され、広域連合として取り組むべき文化振興施策の柱立てが明確となった。
- 文化振興に取り組む意義として「観光」との連携が色濃く位置付けられた。
- 本県の意見を反映し、今後考えられる施策テーマ別の取組（例）として、サブカルチャーが明確に位置付けられた。

3 今後の指針の取扱い

- 指針に定めた施策体系に沿って事業計画を作成し、次年度の広域連合予算に反映する。
（人形浄瑠璃や世界遺産等をテーマとした情報発信、行政間の連携交流のための環境づくり等）
- 12月の連合長調整を経て予算原案が作成され、来年の連合議会3月定例会で議決予定。

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成25年10月4日

文化政策課

1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費

(6月常任委員会報告から9月10日までに追加実施を決定した事業) 13,371千円

2. 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 (うち新規雇用人件費)	雇用創出人数 (延べ)	①月額給料 ②雇用期間(予定) ③被雇用者の要件	事業内容
本を接点とした地域づくり活性化事業	3,755千円 (2,198千円)	1人	① 200千円 ② H25年7月 ~H26年3月 ③ 特になし	文字・活字文化を活用した地域活性化を図るため、本をテーマとした各種ワークショップや講座・演劇等の参加体験型イベント(芝居、古本交換、絵本の料理教室等)を行い、本を通じた人と人とのネットワークづくりを行う。
文化芸術を使った大山の魅力発信事業委託業務	9,616千円 (4,810千円)	2人	① 235千円 ② H25年8月 ~H26年3月 ③ 特になし	大山の自然を生かした音楽イベントや、大山周辺の文学資源を利用した「大山文学の路」(マップ)を作成する。 ○大自然の中でのクラシックコンサートに併せ、屋外でのマルシェ出店、プラネタリウムツアーなど、大山の魅力を体感できるイベントの開催 ○大山周辺に縁のある文学、文学者を訪ね歩くルートマップの作成
合計	13,371千円 (7,008千円)	3人		

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加について

平成25年10月4日
交流推進課

第18回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットが以下のとおりロシア沿海地方ウラジオストク市において開催されます。

- 1 期 間 平成25年10月30日(水)～31日(木)
- 2 場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市
- 3 参加地域 沿海地方(ロシア)、江原道(韓国)、吉林省(中国)、中央県(モンゴル)、鳥取県

4 行 事

(1) サミット本会議

- ・日 時 10月30日(水)
10:00～12:00 基調発言・意見交換・共同宣言文署名
12:00～12:30 記者会見
- ・会 場 極東連邦大学キャンパス(ルースキー島)
- ・テーマ 「北東アジア地域間の経済・文化の相互協力ネットワークにおける観光発展の新しい見通し」
- ・出席者 【沿海地方】ミクルシェフスキー・ウラジーミル知事
【江原道】崔文洵(チェ・ムンスン)知事
【吉林省】巴音朝魯(バーインジャオル)省長
【中央県】ドルジ・バヤルバト知事
【鳥取県】平井伸治知事
- ・その他 サミット参加地域の各首長との二地域間会談が30日午後に予定されている。

(2) 関連事業

- ・経済協議会(30日)…商工労働部所管
- ・環境保護機関実務者協議会(30日)…生活環境部所管
- ・美術作品展示会(30日～11月2日)…文化観光局所管
- ・マスコミ代表者会議(31日)…新日本海新聞社

【参考】前回(第17回)サミットの概要

開催時期	平成24年4月3日(火)～6日(金)
開催場所	鳥取県鳥取市
テーマ	北東アジア地域発展の鍵「環境・観光・経済」
出席者	【江原道】崔文洵(チェ・ムンスン)知事 【吉林省】王儒林(ワン・ルーリン)省長 【沿海地方】ロス・アレクサンドル副知事 【中央県】ツェデブドルジ・エンフバト知事 【鳥取県】平井伸治知事
合意事項	・既存航路の維持発展及び新たなルート開発による交通網拡充 ・観光資源の有効活用及び地域間の人の往来の活発化 ・環境保全に対する共同貢献、資源開発及び利用に対する連携協力 など
関連事業	経済協議会、環境保護機関実務者協議会、美術作品展示会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議

県立智頭農林高等学校「第5回観光甲子園」グランプリ受賞記念 モニターツアーの実施について

平成25年10月4日
東 部 振 興 課
観 光 政 策 課

平成25年8月25日に神戸市で開催された「第5回観光甲子園」において、鳥取県勢初出場の県立智頭農林高等学校が全国75校136プランの中からグランプリの文部科学大臣賞に輝きました。

この栄光を讃え、智頭農林高等学校が発表したプランをモニターツアーとして実施することにより、今後の県内の観光振興に活かすとともに、観光業界に関心を持つ若者を増やすための人材育成を図ります。

1 ツアー概要

- ・鳥取砂丘を育んだ源流の町「智頭町」で森や木と人々との関わりを再認識するツアーを催行する。

2 ツアー内容

(1) 旅行期間 平成25年10月26日(土)～27日(日)

(2) 行 程

【1日目】森林セラピー体験(智頭町総合案内所)→智頭杉のお話し(旧山形小学校)

→森のパン屋さん観光(パン工房アイ:お話は清流の里新田で)→智頭町内に民泊

【2日目】智頭宿散策→石谷家住宅観光→板井原集落(昔の道を歩き炊飯体験)

※行程の変更はあり得るが、できるだけ受賞プランを尊重する。

ツアーの一部には智頭農林高校の生徒も同行し、説明等も行う。

モニターにはアンケートを実施する。

(3) 旅行代金 無料〔集合場所(智頭駅)まで及び解散地からの旅費は各自負担〕

(4) 対 象 者 関西在住者

(5) 人 数 20名

(6) 応募締切 平成25年10月11日(金)

(7) 申 込 先 (株)農協観光鳥取支店

3 実施体制

- ・鳥取県が智頭町及び智頭農林高等学校の協力を得ながら旅行会社に委託実施する。

香港等へのトッププロモーションの実施について

平成 25 年 10 月 4 日
国際観光推進課

9 月 13 日（金）から 16 日（月）まで関西広域連合主催による標記事業が実施され、鳥取県からも副知事をトップに参加しプロモーションを行いましたので、その概要を報告します。

1 関西観光展・物産展（関西広域連合主催）

- (1) 期 間 9 月 13 日（金）～16 日（月）
- (2) 場 所 イオン香港 14 店舗
- (3) 販売品目 二十世紀梨、どら焼き等の丸京製菓の商品
- (4) 二十世紀梨の試食宣伝販売の実施
各店舗で二十世紀梨（約 236 円/個）の試食宣伝販売を行った結果、梨の販売が増加。
- (5) オープニングセレモニー
 - ①日時 9 月 14 日（土）午後 2 時～3 時
 - ②場所 イオン香港コーンヒル店
伝統芸能披露、名誉観光大使 KANSAI 観光大使の任命式、観光パンフレット配布等を実施
- (6) 鳥取県 PR イベント
 - ①日時 9 月 15 日（日）午後 3 時～3 時 30 分
 - ②場所 イオン香港コーンヒル店
・鳥取県の観光 PR、二十世紀梨の試食のほか、鬼太郎の着ぐるみが参加し鳥取県の観光・物産クイズを実施。正解者には二十世紀梨と鬼太郎のぬいぐるみを贈呈

2 EGL ツアーズ社訪問

- (1) 日 時 9 月 15 日（日）午前 10 時～11 時
- (2) 場 所 EGL ツアーズ本社ビル
- (3) 面談者（EGL）袁社長、呂董事、末廣統括部長ほか
（鳥取県）林副知事、文化観光局 安本副局長、農林水産部 伊藤次長ほか
（農業団体）全農とっとり山田県本部長ほか
- (4) 概 要
 - 林副知事から夏季連続チャーター催行のお礼を述べ今冬、来夏のチャーター実施を依頼した。併せて県内スキー場の映像等を使用し冬場の県の観光の魅力を PR した。
 - EGL 袁社長からは次のとおり表明があった。
 - ・米子空港への夏季連続チャーターの評判がとて良く、12 月下旬に最大 3 便のチャーター便を実施する意向で航空会社等と協議中。また来年夏にもチャーターを実施したい意向がある。
 - ・香港には雪が降らないため、スキー場でスキーウェアを着た記念撮影だけでも満足する。
 - ・鳥取県の農産物の評判が良いため日本全国の EGL の旅行で県産農産物のカタログ販売を行いたい。時期によって果物の種類が変わるので、年間を通じてのカタログ販売を提案してほしい。金銭支払いは EGL が一括して行うので鳥取側には「予約センター」を作してほしい。

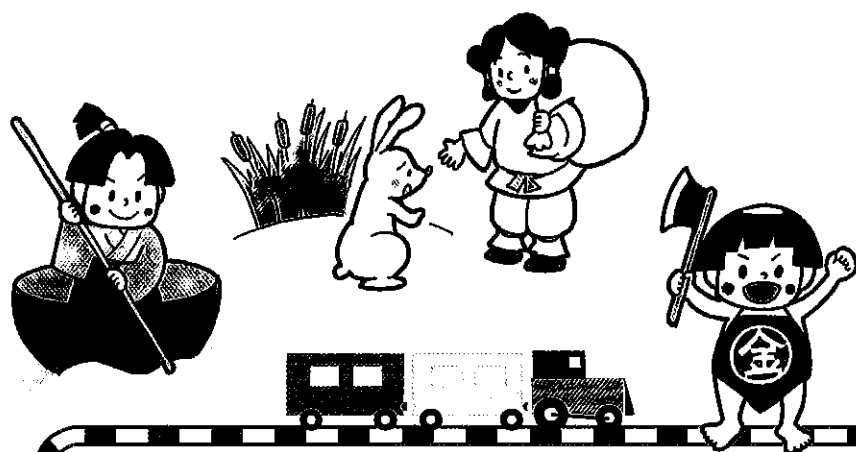
3 広州市所在旅行社との交流会（関西広域連合主催）

- (1) 日 時 9 月 15 日（日）午後 5 時 45 分～7 時 30 分
- (2) 場 所 広東省広州市花園酒店
- (3) 概 要
 - 広東省の政府関係者や旅行業者を招いて参加各地域の魅力の PR を行った。
 - 林副知事から鳥取の梨やカニを始めとした食の魅力を中心に来県を強くアピールした。
 - 複数の旅行業者が鳥取に強い関心を示したため、今後旅行商品造成・誘客に向けて資料提供、FAM ツアー等の調整を行う予定。

た むら とら そう

田村虎蔵生誕140周年 記念コンサート

入場無料



わらべ館所蔵写真

第1部 田村虎蔵音楽へのいざない

田村虎蔵の故郷岩美町小学生による手づくりアニメと演奏

出演者 ★岩美町の小学生（1～3年生）のみなさん ★マリンバ奏者 門脇志保

第2部 田村虎蔵の生涯

住みます芸人ほのまるによるコント仕立ての楽しい紹介

出演者 ★鳥取県住みます芸人「ほのまる」

第3部 音楽教育者・田村虎蔵の業績

研究者による虎蔵の業績についてのわかりやすい解説と
合唱と弦楽合奏による「田村虎蔵日本むかしばなしメドレー」など

出演者 ★武蔵野音楽大学 丸山忠璋教授 ★わらべ館 平緒佐和専門員
★県内合唱団（鳥取市少年少女合唱団、いわみコーラス、中部少年少女合唱団MIRAI）
★オーケストラ（倉吉室内合奏団及び県内出身音楽家）



日時

平成25年10月19日(土)

場所

開演 16:00 (開場 15:30)

とりぎん文化会館梨花ホール

主催：「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会 共催：鳥取県 岩美町 わらべ館
後援：一般社団法人日本童謡協会 国立大学法人鳥取大学 鳥取県教育委員会 鳥取県文化団体連合会 公益財団法人鳥取県文化振興財団

お問合せ：「童謡・唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会事務局 ☎0857-26-7134

